

転職サービス「doda（デュード）」が「転職市場予測 2020 上半期」発表

2020 年上半期（1 月～6 月）の転職市場

～2020 年に突入し、企業の採用活動は落ち着きを見せ始める。求人数は緩やかに増加～

総合人材サービス、パーソルグループのパーソルキャリア株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：峯尾太郎）が運営する転職サービス「doda（デュード）」 < <https://doda.jp> > は、「転職市場予測 2020 上半期」を発表しましたので、お知らせいたします。doda サイト内 < <https://doda.jp/guide/market/> > では、2020 年上半期（1 月～6 月）の転職市場を 14 分野に分けて、それぞれの求人数の動向と注目の職種を紹介しています。

2020年上半期の転職市場全体としては、求人数の増加ペースは緩やかになるでしょう。全14分野のうち「増加」が5分野、「変わらない」が7分野、「減少」が2分野と見込んでいます。

14の業界・職種で求人数の動向は？



■新しい業界や海外でのビジネス拡大を狙う企業が増加。専門知識や主体性を持つ人材のニーズが高まる

2020年上半期の求人数は、「変わらない」と「減少」が「増加」を上回る状況となるでしょう。ここ2～3年多くの企業は、「働き方改革」への対応、新しいサービスやプロダクトの開発、また、好調な業績を受けての労働力不足に対応するため、積極的に採用活動を行ってきました。しかし、直近の経済環境の不透明さ、国内景気への慎重論などにより、採用のペースを少し落とし、様子を見る企業が増加する見込みです。

今後は、既存の製品やサービスだけで継続的な成長を見込むのは難しいため、「次の手」を見据える企業が増加し、新しい業界や海外にビジネスを広げようとする動きが活発化すると考えられます。その結果、「マーケティング」「IT」「IPO（株式公開）」「M&A」「海外展開」「法務」をはじめとする専門知識を有する人材のニーズは、ますます高まっていくでしょう。

さらに、企業の人材ニーズの根底には、新しいビジネスを推し進める原動力になってほしいという期待があるため、企業は採用時、個人の仕事への向き合い方や考え方を重視しています。そのため、「自分で考えて動く」ことができる人材も、これまで以上に企業から求められることになるでしょう。（doda 編集長 大浦 征也）

■ 14の分野別に求人動向を予測
01. 営業 < <https://doda.jp/guide/market/006.html> >

営業職はIT、Web、コンサル、人材など、成長業界の求人が増加の見込み

02. 人事 < <https://doda.jp/guide/market/007.html> >

人事部門に期待される「労務」「組織づくり」「採用・定着」などの職種で求人ニーズが増加

03. 経理 < https://doda.jp/guide/market/007_1.html >

経理の繁忙期の前に活動を！決算の経験者は引き続き高いニーズ

04. 法務 < https://doda.jp/guide/market/007_2.html >

企業の法務案件は増加の一途。実務経験がなくても採用に至るケースも

05. 企画・マーケティング < <https://doda.jp/guide/market/008.html> >

成長業界を中心に、新しい潮流に対応できる企画・マーケティング人材が求められる

06. クリエイティブ < <https://doda.jp/guide/market/011.html> >

求人ニーズは細分化。ニーズ増加のキーワードは「UI・UX」「EC」

07. IT・通信 < <https://doda.jp/guide/market/001.html> >

ITエンジニアの求人は引き続き豊富。SAP・Salesforce製品のニーズが急騰中

08. 電気・機械 < <https://doda.jp/guide/market/002.html> >

モノづくりのサービス化が進み、製造業でもIT・ソフトウェア系エンジニアのニーズが顕著に

09. 化学・素材 < <https://doda.jp/guide/market/012.html> >

化学系エンジニアは経験者の採用が中心に。開発・生産技術のニーズ高まる

10. 建築・土木 < <https://doda.jp/guide/market/003.html> >

ストック事業へのシフトを背景に建築・土木技術者の求人ニーズが広がる

11. 販売・サービス < <https://doda.jp/guide/market/009.html> >

販売・サービスの求人は1~3月に増加。中食、携帯ショップ、婚活サービスが好調

12. 金融 < <https://doda.jp/guide/market/004.html> >

保険業界の求人は安定的。銀行ではサービス企画やIT人材の採用意欲が高まる

13. メディカル < <https://doda.jp/guide/market/005.html> >

臨床開発・専門職のニーズは安定的。医療×ITなど、新しい業態の参入により経験者が求められる

14. 事務・アシスタント < <https://doda.jp/guide/market/010.html> >

事務業務の自動化が進むからこそ、ニーズが増えることも

■解説者プロフィール doda編集長 大浦 征也（おおうら せいや）

2002年、株式会社インテリジェンス（現社名：パーソルキャリア株式会社）入社。人材紹介事業に従事。法人営業として企業の採用支援、人事コンサルティング等を経験した後、キャリアアドバイザーに。転職希望者のキャリアカウンセリングやサポートに長年携わる。担当領域は多岐にわたり、これまでに支援した転職希望者は10,000人を超える。その後、キャリアアドバイザーの総責任者、法人営業部隊も含めた地域拠点の総責任者などを経て、2017年より現職。営業本部長、事業部長を歴任し、2019年10月、執行役員に就任。社外にてJHR（一般社団法人人材サービス産業協議会）キャリアチェンジプロジェクト、ワーキンググループメンバー、SHC（公益財団法人スポーツヒューマンキャピタル）理事にも名を連ねる。



■「doda」について < <https://doda.jp> >

「doda」は、「はたらく今日が、いい日に。」をスローガンに、転職サイトや転職エージェント、日本最大級のdoda転職フェアなど、各種コンテンツで転職希望者と求人企業の最適なマッチングを提供しています。

■パーソルキャリア株式会社について < <https://www.persol-career.co.jp/> >

パーソルキャリア株式会社は、パーソルグループの「リクルーティングセグメント」中核会社として、一人々に「はたらく」を自分のものにする力を－をミッションとし、転職サービス「doda」やハイクラス人材のキャリア戦略プラットフォーム「ix」をはじめとした人材紹介、求人広告、新卒採用支援等のサービスを提供しています。

2017年7月より、株式会社インテリジェンスからパーソルキャリア株式会社へ社名変更。グループの総力をあげて、これまで以上に個人の「はたらく」にフォーカスした社会価値の創出に努め、社会課題に正面から向き合い、すべての「はたらく」が笑顔につながる社会の実現を目指します。

■「PERSOL（パーソル）」について < <https://www.persol-group.co.jp/> >

パーソルグループは、「はたらいて、笑おう。」をグループビジョンに、人材派遣サービス「テンプスタッフ」、転職サービス「doda」をはじめ、ITアウトソーシングや設計開発など、人と組織にかかわる多様なサービスを展開しています。

また、人材サービスとテクノロジーの融合による、次世代のイノベーション開発にも取り組んでおり、市場価値を見出す転職サービス「ミイダス」、IT イベント情報サイトおよびイベント&コミュニティスペース「TECH PLAY」、オープンイノベーションプラットフォーム「eiicon」、クラウド型モバイル POS システム「POS+（ポスタス）」などのサービスも展開しています。